

コラム

国土交通省防災ポータル

— 「いのちとくらしをまもる防災減災」を一人ひとりが
実行していくための防災情報ポータルサイト —

国土交通省 水管理・国土保全局 防災課

1 「防災ポータル」とは

「防災ポータル」とは、国土交通省や各関係機関、地方公共団体など、様々な防災・災害情報を一元化し、「日頃から知ってほしい情報」や「災害時、見てほしい情報」などに整理した防災情報ポータルサイトである。

「日頃から知ってほしい情報」では、想定される被害状況やハザードマップ、災害の基礎知識、災害時の身の守り方についてのサイトを掲載している(図1)。「災害時、見てほしい情報」では、リアルタイムの被害状況や避難所等の防災施設の情報、交通物流情報、安否情報についてのサイトを掲載している(図2)。

これらのサイトについて、英語・韓国語・中国語だけでなく、タイ語やベトナム語、ポルトガル語にも対応(図3)するとともに、スマートフォン対応により、国内や海外に対して平時から容易に防災情報等を入手できるものとなっている。

2 「防災ポータル」の普及に向けて

1) 「防災ポータル」の機能拡充

「防災ポータル」は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催時における国民や訪日外国人を首都圏で起こり得る地震災害を中心とした自然災害から一人でも多く守ることを想定して開設したが、サイトの多くは首都圏に限らず日本の広い範囲をカバーしており、カバーする地域も順次拡大してきた。

また、対象とする災害について、開設当初は地震・津波災害に関する内容の充実を図ってきたが、近年頻発する災害を踏まえ、風水害・雪害等の情報に対応するよう拡充したり、電気・ガス・水道等のライフラインの被害や復旧状況に関する情報、無料 Wi-Fi や宿泊施設に関する観光情報の追加などを行い、開設時の75サイトから、302サイト(令和5年11月時点)に拡充している。さらに、利用者が見たい情報にアクセスしやすいよう、災

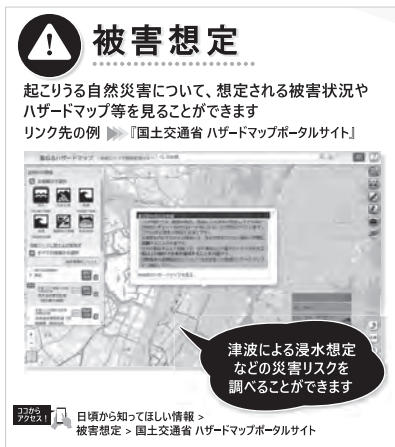


図1 「日頃から知ってほしい情報」の掲載例



図2 「災害時、見てほしい情報」の掲載例

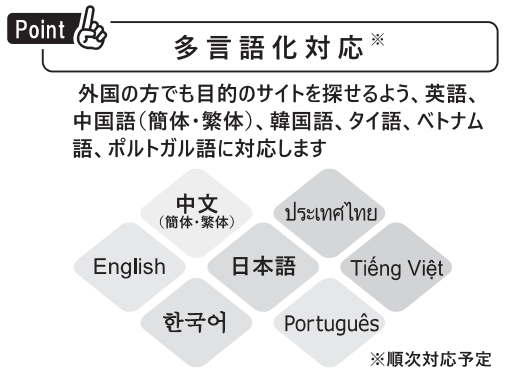


図3 多言語化対応

害種別や地域別のフィルター機能(図4)を追加したり、音声読み上げに対応したHTMLの構築や色覚多様性に対応した色合い変更の機能を追加するなどのウェブアクセシビリティ対応を行っている。

2) 普及に向けた各種取組み

「防災ポータル」の普及のため、これまでパンフレット(図5)の配布やポスターの設置、国土交通省 X、Yahoo! のバナー広告への掲載による広報など、SNS の活用や民間事業者と連携した広報活動を行っている。

3 おわりに

令和6年1月1日に能登半島地震が発生したように、地震はいつでも発生する可能性がある。首都直下地震や南海トラフ地震等の大規模地震災害を始め、全国で起こり得る地震災害やその他自然災害に対して、「いのちとくらしをまもる防災減災」を一人ひとりが実行していくためには、平時からの国内・国外に向けた情報発信をより一層進めることが重要である。

引き続きコンテンツの拡充やウェブアクセシビリティ対応等の改善を行い、「防災ポータル」の平時からの利用を促進していく。



図4 災害・地域別フィルター



図5 防災ポータル紹介パンフレット